

藤岡市立鬼石中学校
PTA広報新聞
『礎』
平成30年度12月号

発行責任者：
鬼石中学校PTA
編集者：
同地区委員(広報担当)
印刷所：
鬼石中学校印刷室

学校教育目標

夢と誇りを持ち、
社会に貢献できる
自立した生徒の育成

礎

- 平成三十年年度
鬼石中PTA活動方針
全ては子どもたちのために
子どもへの学力向上と健全
育成に努める。
- PTA活動に主体的、かつ積極的に参加する。
 - 家庭教育では、子どもたちに規律正しい生活習慣を身に付けさせるように努める。
 - 学校との連携を深め、保護者と学校と地域が一体となつて子どもへの教育活動をサポートする。
 - 一日一度は家庭で子どもと対話する時間をつくる。



集い、学び、結ぶPTA活動を目指して
PTA副会長 飯塚 広之

私は鬼石中学校の卒業生ですが、私が卒業したのは、今は鬼石多目的ホールが建つ場所にあった木造校舎の旧鬼石中。校歌も現在のものとは異なります。何より違うのは生徒数で、私の同級生は一六一人。生徒が少ないことによるメリットもあるでしょうが、集団の中で学ぶことも多いはずで、弊害も大きいように思います。そして、過疎化・少子化は単に学校だけではなく、地域の問題でもあります。



鬼石中雑感

教頭 須田 佳明

鬼石中学校に赴任して九ヶ月が経とうとしている。全校生徒を前にした時に感じた《これだけ》という気持ち。初めて聴いた校歌の素晴らしい歌声。どちらも驚きだった。今はそれらが当たり前となつてしまつた。生徒の明るい表情、教師との距離感、行事に対する前向きな姿勢、部活動への取組、そのどれもが《いいなすこいな》と感じられる。大きな行事が続いた二学期も終わりに近づいている。私自身は二学期が好きだ。それは、四月からの自分の取り組んできた成果が出るから。生徒たちの顔が見られるから。保護者の顔

りますが、以前、鬼石公民館に勤務していたとき、公民館は「集い、学び、結ぶ場所である」と言われました。この「集い、学び、結ぶ」という言葉は、PTA活動にも通じるように思います。

保護者が「子どもたちのために」という共通の目的を持って会議や行事に集まる。「学ぶ」と言っても研修や講演会に参加することだけでなく、雑談の中で子育てについて情報交換をしたり、時には酒を飲みながらお互いの人となりを知ったりすることも、新しい知識・情報に触れるという点では「学ぶ」ということになります。こうして保護者同士が

が見られるから。この三つの理由からだ。自分の目指す学級・学年、それに向けて地均しをし、種を撒き、水をやり育ててきた結果が出てくる。うまくいく時もある、そうでないこともある。生徒を見、自分を振り返り、三学期にどうするかを考える。それが好きだ。行事を通しぐんぐん成長する生徒たち。四月の頃に比べ大きく変わる。生徒たち自身では気付いていないことが多い。大きく成長するその姿を見ることが好きだ。保護者との距離が縮まる。行事で顔を合わせることが増えるから。一緒に生徒の頑張る姿を見て話しができ

結びつきを強め、ひいては地域の結束、連帯感が深められる、PTAにはそんな意義もあるのではないのでしょうか。東日本大震災以来、「絆」ということが盛んに言われるようになりました。しかし、それは特別なことではなく人が交流する場所があることによつて自然と生まれてくるものだと思います。

鬼石に限ったことではありませんが、過疎化、少子化に伴つて、住民の連帯の希薄化も懸念されています。私の役員任期も残りわずか。PTA活動を通じ、先生や保護者だけでなく生徒も含めて、多くの人と交流できたことは、私にとつての「学び」であったと思います。ここで培った人とのつながりをどう活かしていくか。私の課題です。

から。部活動の代が変わり今まで三年生の保護者の陰に隠れていた二年生の保護者と会話する機会が増えるから。話す機会が増えることで自分を理解してもらえようになり距離が縮まる。だから二学期が好きだ。

年が明けると三学期。三年生は受験が迫ってくる。自分のために努力を続けてほしい。きつとできる。先輩たちの見本となるよう、受験に真正面から取り組んでほしい。その姿を見せることで後輩を導いてほしい。保護者にはそれを支えてほしい。

縁あつて赴任した鬼石中学校。自分はいっかきとその生活を楽しめている。

生徒たちのおかげ、保護者のおかげ、一緒に働く教職員のおかげで...

秘伝の豚汁を、今年も振舞う!

11月18日、鬼石中の伝統行事「マラソン大会」になくてはならないのが、PTA本部役員特製『名物・豚汁』です。今年も総監督の島田料理長のもと、前日より仕込み、当日多くの生徒、保護者に振舞われました。その美味しさに疲れも吹っ飛びました。



一生の思い出に…3年・修学旅行(9/3.4.5)

→新幹線車中 →東大寺



古に触れて、今を学ぶ。古都の果てまでイッテQ! というテーマのもと、3年生が2泊3日の修学旅行に行きました。この3日間で身に付けた様々なことを今後の学校生活や受験勉強に生かしていつてほしいです。3日間の様子を生徒の感想文から感じてください。

1日目

1組 須田くるみさん

奈良でたくさんの思い出をつくるのができてきました。奈良の大仏は小学生の時に見た鎌倉の大仏よりも大きくて迫力を感じました。興福寺では、テレビでしか見たことがない阿修羅像を実際に見ることができて、国宝の魅力を感じました。法隆寺では、当時の建造物の一つ一つの細工にたくさんの思いが込められているのを感じ、建物を大切にす

2組 小柏 雛音さん

修学旅行で最初に感じたこと。それは、京都・奈良を歩いていて、群馬のように感じられたこと

とでした。町並みは、高崎かそれより少し田舎のような雰囲気でした。奈良では何といても東大寺に驚きました。教科書で見ると、予想以上に大きくて口が開いてしまいくらいでした。大仏様はずっしりと構えていて、守り神のようでした。中に入ると空気が変わって、タイムスリップをしたようでした。

2日目

1組 佐藤 伊吹くん

「最悪の中の感謝」です。「最悪」は、台風21号の影響で別行動ができなかったことです。二条城や祇園等に行く予定でしたが、全てキャンセルとなってしま



台風前の西本願寺参拝



法隆寺

奈良公園の鹿

い「最悪」でした。しかし、そんな中でも「感謝」がありました。それは、先生や旅行者さん、旅館の方々が夜遅くまで一生懸命に計画を考えてくれたおかげで、漆器の加飾体験やお坊さんの説法を存分に楽しむことができたことです。台風が来たからこそ感じることでできた気持ちになりました。プラス思考の気持ちを抱くことができました。

2組 中金 啓太くん

二日目の午後、は台風の影響で、漆器の加飾や数珠づくりの体験をさせてもらった。日本の伝統工芸を体験できて楽しかったし、思い出に残るものができた。台風の中、来てくれたお坊さんは、ご自身のお寺も台風の影響に遭って



京都駅で美味しい昼食



夕食すき焼き



朝の京都マラソンへ?



お坊さんの説法&念珠作り



漆器加飾体験

3日目

1組 久米 良介くん

朝起きると、長いと感じた修学旅行も終わりに近づき、「もう今日は帰るのか」という思いがありました。しかし、そんな悲しみを吹き飛ばすように、清水寺で絵付け体験をしたり念願の金閣寺にいったり北野天満宮で合格祈願をしたりと、充実したクラス別行動をすることができました。このクラスでよかったです。瞬間でもありました。こ



夕食すき焼き



1組:北野天満宮



清水焼絵付け体験



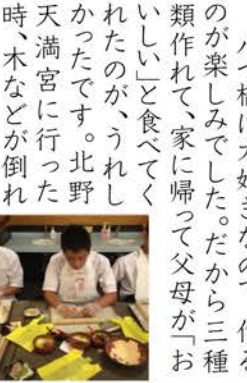
清水寺・音羽の滝



2組:北野天満宮

の修学旅行では、楽しむことの大切さと、色々な方々への感謝の気持ちを忘れてはいけないということを学ぶことができました。そんな気持ちにさせてくれた、この修学旅行に関わってくれた全ての人に対して、感謝の気持ちで一杯です。

八つ橋は大好きなので、作るのが楽しみでした。だから三種類作れて、家に帰って父母が「おいしい」と食べてくれたのが、うれしかったです。北野天満宮に行った時、木などが倒れていて台風の物凄さを知りました。その時、私達のことを守ってくれた先生方に感謝の気持ちになりました。また、わかりやすく説明してくれたら、写真撮ってくれたり、運転士さんや感謝の気持ちで一杯です。



↑八つ橋作り体験



↑金閣寺参観

↑伏見稲荷神社

心と体に汗を…2年・職場体験学習

2年生が生まれ育った鬼石地区の各事業所にお世話になって9月3～7日、職場体験を行いました。優しい事業所の皆さんのご指導のもと、全員が無事にやり遂げることができました。今回の体験で更に大きく成長したことでしょう！

★関野 瞬くん

僕は、今回のチャレンジウィークをやる前は、いつものようにやっている勉強よりも、楽なのだろうと思っていました。だけれど、やってみると、勉強



日帝無線様にて 関野くん



鬼石北小にて 平野さん



カインズホーム様にて 金澤くん

よりもやはり疲れることと、作業時間一回、一回が長くてとても厳しかったです。

★平野 愛菜さん
今回の職場体験で、一番勉強になったことは、伝える相手の年齢によって使う言葉や表現を選ぶということが必要だということです。これからは、相手に一番わかりやすい言葉で話せるようにしたいです。

★金澤 つかさくん
お客さんに商品の位置を聞かれたときに案内したらお礼を言ってもらえたときは、とてもうれしくやりがいを感じるようになりました。大変な事も多かったけどお礼を言われるたび、疲れが吹き飛びました。

感動体験…2年・東京校外&観劇教室

11月29日、2年生最大の学年行事が行われ、東京を自分たちの足と頭を使って回ってきました。ハプニングもあつたようですが、全員が大井町の四季劇場に到着できました。

◎島田 萌々子さん

私は今回の東京観劇教室で、時計を見て行動すること、班のみんなと協力して行動すること



→ 浅草寺五重塔をバックに

◎小坂 芽生さん

私が東京校外学習で一番思ったことは、仲間の大切さです。駅で迷ったときや浅草で店が分からなかったときでも、班の人と協力することで楽しく班別行動をするこ



大井町四季劇場



浅草・仲見世通り

◎新井 美優さん

初めて行った浅草。外国の方も多く、おいしい食べ物、すてきな浅草寺。公共の場でのマナーも学ぶことができました。やっど見ることができたライオンキング。人間とは思えないほどの細かい動きや表情にとっても感動しました。



上野:国立科学博物館前で記念撮影

友との絆を…1年・高原学校(9/7.8.9)

絆を深めて最高のクラスへ
宇宙のような無限の可能性を信じて、スローガンに、一年生は榛名湖畔で二泊三日の集団生活を送ってきました。みんなで決めたきまりを守り、わがままを封印して、絆と可能性を言葉に、多くの経験をしてきました。そして、一回りも一回りも成長してきました。

◆1日…荒川 七音さん

私は一日目のカッターのときに「仲間って本当に大切ななあ」と思いました。最初は全然進まなかったカッターが、全員で声をかけ合いながらオールをこごと進みました。仲間と一緒にやりとげることは素敵だなあと思いました。



榛名神社に参拝



人生初のカッター乗船



1日目夜のキャンプファイヤー

◆2日…木下 心くん

2日目は榛名登山をしました。登りは晴れていてかなり歩きやすく楽しかったです。でも、下り



2日目夜のレクリエーション

★◆3日…森 善申くん

高原学校ももう終わりです。退校式では歌をしっかりと歌え、ほめられました。富岡の自然史博物館では、自分の不思議を知ることができました。この3日間で、たくさん学ぶことができました。



スイスイ進むカッターにて…



桜華祭



楽しい各学年のダンス発表



先生も一緒にDance,Dance!

鬼石中のこの生活にも団結力を意識して生活していきたい。

●関根さやかさん【3年保護者】

平成最後の文化祭。鬼石中に相応しい「桜華祭」という名前も考え、新たな歴史を作り上げてくれたのではないのでしょうか？娘にとって最後の文化祭となり娘の成長を感じました。吹奏楽部の仲間達との最後の演奏でしたが、入学当初から今までの娘と一緒に悩んで頑張ってきた日々を思い出し、涙が溢れてきました。合唱コンクールでは1～3年生の合唱を聴きましたが、さすがは3年生。心に響く歌声でした。この仲間達との出会いを一生の宝物にして大切にしてほしいです。そして、生徒のために毎日夜遅くまで頑張っている先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

★34代会長：田中麗恩くん
この桜華祭で「団結力」を改めて感じた。クラス対抗の合唱コンクール、班別のダンスなど全て団結力が無いとできない。一人一人が違う方向に進んでも良いものは生まれない。皆が同じ方向に進んだからこそ、良いもの、思い出に残るものが生まれる。鬼石中のこの生活にも団結力を意識して生活していきたい。

●小柏久美子さん【3年保護者】

皆の頑張る姿、一生懸命な姿、とにかく格好良かったです。一生懸命に取り組んで一生懸命に頑張る、この堂々とした姿が格好良いということは素晴らしいことです。そうした環境である鬼石中はやっぱり素敵だなと思いました。ダンスも合唱もあれだけの仕上がりにするまでどれだけの努力を要したのかと想像します。多くの時間を費やして、そして努力した成果をのびのびと楽しく発表してくれた生徒に感動です。



鬼石校区小中一貫の鬼石北小・鬼石小との合同合唱

●大澤奈美さん【3年保護者】

今年第1回桜華祭、そして平成最後の文化祭、とても記念にふさわしい内容でした。特に合唱コンクールはどの学年も素晴らしいかったです。桜華祭当日まで、各クラスで朝早く行ったり、休み時間を使って一生懸命に練習していたことが目に浮かびました。ご指導してくださった先生方に感謝いたします。

伝統継承&創造！…「歌う鬼中」「走る鬼中」



男子スタート風景

●須田淳子さん【3年保護者】

中学校最後のマラソン大会。部活も引退し体を動かしていないので、だいぶ遅くなってしまいましたが、苦しみながらもゴールを目指していました。1・2年生が成長していることを感じたことと思います。マラソン大会は好きだという子は少ないと思いますが、苦しいことを通して我慢する心や頑張る力を付けるのにとっても意味のあることだと思います。最後まで走りぬくことで色々なことを学んでほしいです。頑張った後の豚汁がとても美味しかったと言っていました。PTA役員、監察員、先生方、ありがとうございました。

★男子1位 萩原彩子さん①
本番ではいつも以上にペースを考えて走りました。1位でゴールできて嬉しかったです。

★男子2位 蓮真那斗くん③
最後のマラソン大会。1位をとることはできなかったけど、自分の持てる力の全てを出して走ることができたので満足です。

★男子3位 新井志庵くん①
目標タイムが14分30秒でした。コースをよく把握してなかったのが、来年はこの目標をクリアしたいです。

11月18日、鬼石の町中を鬼石中の生徒が疾走する伝統行事「マラソン大会」が行われました。地域の方々から熱い声援・応援をいただきました。

★男子1位 橋爪一慶くん①
学校から帰宅して毎日家の周りを走った成果が出たので良かったです。努力は裏切らないことが分かりました。

★女子1位 萩原彩子さん①
本番ではいつも以上にペースを考えて走りました。1位でゴールできて嬉しかったです。

編集後記
盛り沢山の2学期。生徒の成長を保護者の皆さん、そして生徒の皆さんの感想から感じていただけたいと思います。良いお歳をお迎えください。
(広報担当一同)



女子スタート風景

★女子2位 金井美咲希さん①
私は入賞できてとても嬉しいです。来年もベスト3に入れるように何事にも一生懸命に頑張っていきます。

★女子3位 宮越綾さん①
3位という悔しい結果で終わったので、来年はしっかり練習して優勝できるように頑張ります。

マラソン大会

10月25日、鬼石中にとって新たな伝説が生まれました。生徒会本部が中心となって文化祭の名称が「桜華祭」となりました。



吹奏楽部：みにコンサート